

2018年8月16日

特別レポート「自動車業界の評価に重要性増す環境要素」を発表

格付投資情報センター（R&I）は、8月16日に「自動車業界の評価に重要性増す環境要素 将来の競争力を左右——格付への反映方法を解説」と題する特別レポートを発表しました。本レポートではR&Iが、二酸化炭素の排出抑制や大気汚染防止、それに関連する環境規制などの環境要素をどのように信用格付に考慮しているかを業種別格付方法の評価項目に沿って説明しています。要旨は以下の通りです。

ESG投資への関心が高まっている。パリ協定や環境規制が企業に環境保全に向けた取り組みを促している。自動車業界の格付という観点からは、環境要素として二酸化炭素の排出抑制や大気汚染防止、それに関連する環境規制の重要度が高い。

R&Iは格付分析の中でESG要素を考慮している。環境要素は乗用車の産業リスクを大きくする要因のひとつだ。内燃機関の効率化や車両の電動化を推進する必要がある、競争激化や投資負担増を招くことになる。

現在は個別企業リスクの「技術力・開発力」項目を通じて自動車メーカーの格付に環境要素を反映している。将来は規制強化やEVシフトが進むため、格付における環境要素の重要性が増す。多くの企業にとって競争力を左右するリスクとなるが、魅力的なEVを商品化するなど競争優位を確立できれば市場機会になる。

本レポートの全文は、会員向け有料ウェブサービスCredit Expressを通してご覧いただけます。Credit Expressの概要については下記URLをご覧ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/products/creditexpress/index.html>

R&Iは国連がサポートする責任投資原則（PRI）「Statement on ESG in Credit Ratings」の署名会社として、ESG要素と信用格付の結び付きに関する研究を進めています。ESG各要素に対する考え方や業種別の視点等を順次発信する予定です。R&IはこれからもESG投資手法や企業開示の高度化に資する有用な情報を提供していく方針です。

以上

「Credit Express」は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

■お問合せ先 : マーケティング本部カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。